

2015

- ・陽公 7歳 入学
- ・満晴 4歳 入園



2016

- ・リオデジャネイロで五輪
- ・北海道 JR 新幹線開通
- ・日本でサミット開催
- ・参議院通常選挙

2018

- ・平昌冬季オリンピック
- ・相鉄線が新宿駅まで
- ・国際学力調査実施

2020

- ・大学入試テストスタート
- ・東京オリンピック

2022

- ・北陸新幹線延伸（敦賀）
- ・参議院通常選挙

2025

- ・月以遠の長期有人飛行
- ・コンピュータ 100 年問題

2026

- ・陽公 大学入試
- ・リニア中央新幹線開業
- ・陽公 選挙権発効

2029

- ・満晴 大学入試
- ・満晴 選挙権発効

2015 陽公 7歳 入学
満晴 4歳 入園



「2027 年の我が子」のために、 いま親ができる「準備」とは？

干支がひとまわりする 2027 年。いま 10 歳の子どもたちが大学を卒業し、社会に出るころ・・・どんな世の中になっているでしょう。子どもたちはそれぞれどんな職業に就いているでしょう。将来に向けた子どもたちの「準備」とは？ 我が子の未来のために、いま親ができる「準備」って？ 朝日新聞「わかるわかる連動」が日能研に聞いてみました。

夢への「準備」いつ はじめる？

将来なりたいもの — プロスポーツ選手。科学者。お医者さん。社長！ 学校の先生。イラストレーター。音楽家・・・。子どもの夢はさまざまです。いま小学校 3・4 年生の子どもたちが社会に出るころ、世の中はどんな様子でしょう。なりたかった夢、そして実際の職業・・・変わりしているかもしれません。2027 年 — アメリカでは 65% の人が「いまは存在していない職業」に就くという予測があります。

同年、日本では時速 500 キロメートル超のリニア中央新幹線が開業予定。街には自動運転の車が当たり前になっている。人型のロボットが笑顔で一緒に仕事をしている。月への旅行がスタンダードに・・・そんな世の中になっているのかも。ずっと夢見てきた 21 世紀「SF の世界」が具体的になっているでしょう。変化への加速がはっきりと感ぜられる時代、子どもたちはどのように学び、成長し、新しい大学入試を経て、職業を選び、社会の、世界の一員となる歩を進めていくのでしょうか。

いま、子どもたちに必要な「準備」。いま、親ができる「準備」。まずは 3～4 年後の中学進学を考える — 公立か私学か。中学受験塾である私たちの我田引水ではなく、いま、保護者のみなさんに本当に考えてほしいことです。プロスポーツ選手を具体的に目指す子なら、おそらくクラブチームで道を歩み始めている？ ピアニストを志すなら、誰かの弟子となり専門のレッスンを受けている？ 小学校以外の場所で、多くの子どもたちが夢につながるはずの「準備」を始めています。中学受験は「今」を豊かにするための道。特定の未来のために「今」を使うのはもったいない。可能性を広く大きく保ちつつ、自由に学びながら、将来の自分の扉を模索する、自分を育てる「準備」。 — ぜひ我が子に渡してあげてください。

未来でもチカラになる「学び」

宇宙飛行士でもエンジニアでも研究者でも、起業家でも、「会社員」でも、活躍の場で共通して求められるチカラ。思考力、判断力、表現力、主体性、多様性、協働性・・・。新しい大学入試でも求められるチカラです。では、どんな学びがその「準備」になるのでしょうか。

たとえば、「アクティブ・ラーニング」※。チョーク&トークで一方向的に教えるのではなく、子どもたちが学びの中心にいる。お互いの考えや意見を出し合いながら学ぶ。体験学習も議論も討論、グループワークなども。昨年の文部科学省の調査では、日本の国公立大学の43・4%にあたる338大学が、そのためのスペースを設置。ここ3年間で2・5倍に増えているといいま気もちろん、場所を設けるだけの問題ではないのですが。

私学の学びの場は、ずいぶん前から、いや創立当初から子どもが「主体」。授業も、行事も、学び舎にあるすべての時間、空間が「アクティブ・ラーニング」といえるでしょう。

日能研も同じです。「集団対話型授業」という学びの空間。プログラムやテキスト、先生の居方も、すべては「子どもの学びが真ん中」です。テストでも、いわゆる「従来型」の知識の蓄積量や計算の処理能力だけをはかることを目的としていない、思考力、判断力、表現力を重視するテスト。点数が持つ意味をはるかに超えて、「自分自身」と出会う — だから評価も多様。今回も日能研ルーブリック※を採用しています。

多様性が当たり前の時代。未知なる未来—。教育も変わらざるを得ない。我が子が歩む道について、まずは知ることから。予測する。多様な視点をもつ。我が子の進路を考え、学びの環境を整える。—いま、保護者ができる「準備」。日能研がお手伝いします。

子どもの体験。親の体験。未来に向けて、〈日能研全国テスト〉から、「準備」を始めてください。

※アクティブ・ラーニングとは、「思考を活性化する」学習形態を指します。

※〈日能研ルーブリック〉の詳細は、下記アドレスの日能研ホームページをご覧ください。
<http://www.nichinoken.co.jp/event/free/comment.html>

2015/5/10 朝日新聞社広告部のページから頂いた。



END